

## 取扱説明書

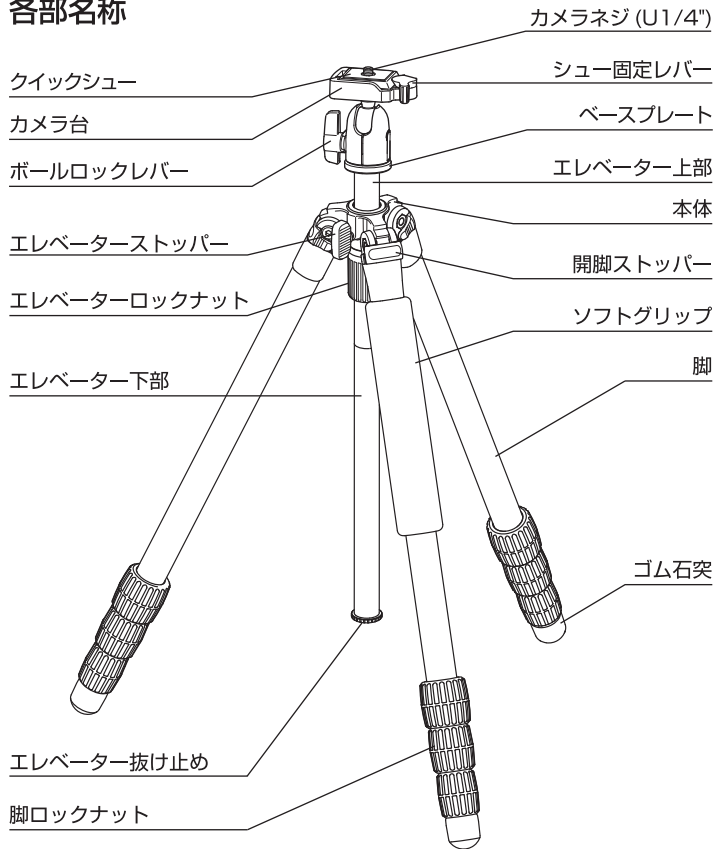
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

**△ 注意** このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

**⊘ 禁止** このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。説明にしたい事故のないようお使いください。

R433-1

## 各部名称



ライトカーボン E64  
ライトカーボン E54

### △ 注意

ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。（無料修理保証の対象外です。）  
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

## 仕様

	ライトカーボン E63	ライトカーボン E64
縮長	595 mm	530 mm
全高	1,700 mm	1,675 mm
EVスライド	410 mm	300 mm
質量	980 g	1,000 g

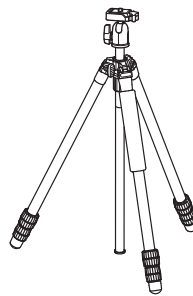
  

	ライトカーボン E53	ライトカーボン E54
縮長	538 mm	468 mm
全高	1,525 mm	1,500 mm
EVスライド	365 mm	300 mm
質量	870 g	870 g

三脚ケース付

## 別売品

スベア用クイックシュー 6252  
スプリント PRO II 用

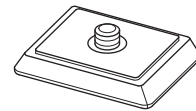


ライトカーボン E63  
ライトカーボン E53

## 搭載する機材

### ⊘ 禁止

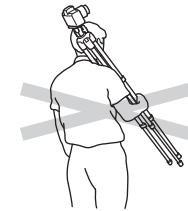
最大搭載質量 : 1.5kg



これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは上のクラスの三脚をお使いください。

## 持ち運びの時

### ⊘ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

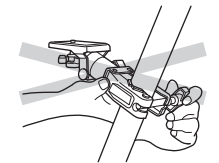
## 衝撃のあった時

### △ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認してください。傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。カーボン繊維が出ている場合はケガをするおそれがあります。直接ふれないようご注意ください。

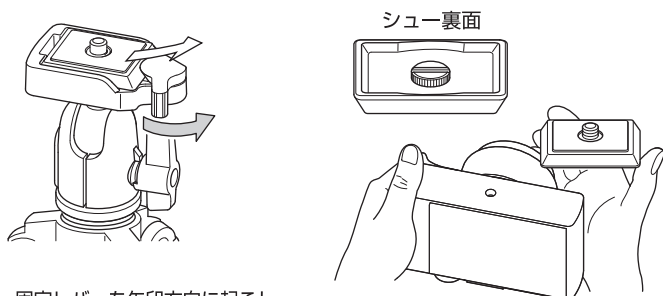
## クランプヘッド

### ⊘ 禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。パイプが破損し危険です。

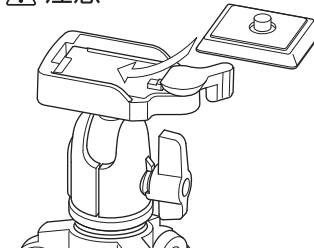
## カメラの取り付け方



シュー固定レバーを矢印方向に起こし、クイックシューを取り出してください。この時シュー固定レバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので、無理にもどさないように注意してください。

カメラの三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせ、コイン等を使いしっかりとねじ込みます。

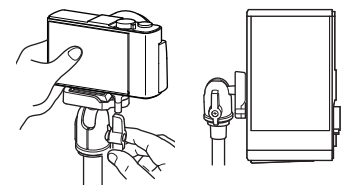
### △ 注意



クイックシューをレバー側から斜めに滑らすように取り付けます。取り付けるとシュー固定レバーは自動的に閉じますが、さらにレバーを固定側に締め確実に固定します。

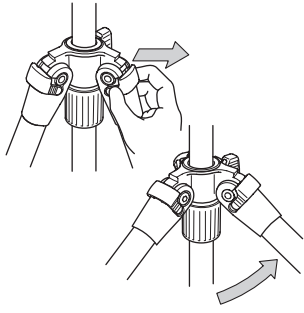
## 雲台の使い方

(たて位置撮影例)

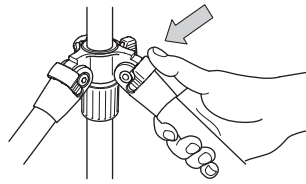


カメラをささえながらボールロックレバーをゆるめると、カメラ台はフリーになり、ベースプレートも回転します。アングルを決めてボールロックレバーをしっかり締め付けてください。

## 開脚角を変える

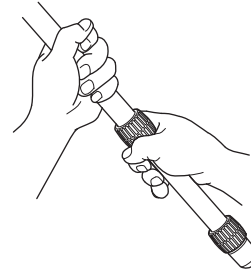


標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角（ミドル、ローポジション）がえらべます。



使用角度が決まったらストッパーをつきあたりにあたるように確実にもどしてください。

## 脚の伸縮

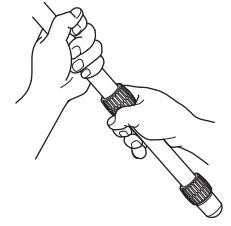


脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

## 脚の増し締めするとき

### ⚠ 注意

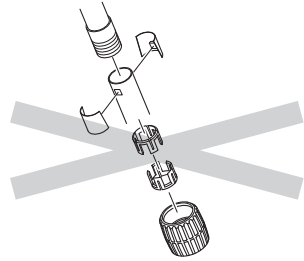
内部の部品が破損するおそれがあります。



脚ロックナットを増し締めするときなど力強く締め込むときは、1段上のパイプを持って締め込んでください。

## 脚の分解

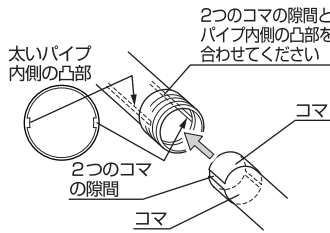
### ⊘ 禁止



本製品は分解等しないように注意してください。誤って脚ロックナットを外した場合は、次の図を参考に正しく組み立ててください。

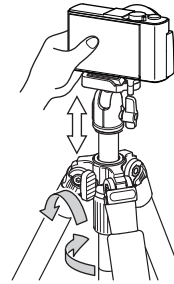
### ⚠ 注意

万が一分解したときは図を参考に位置を合わせて組み立ててください。

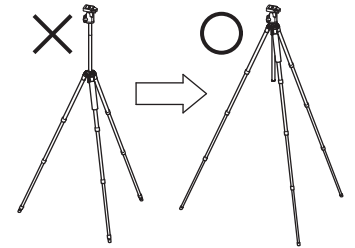


パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。（無料修理保証の対象外です。）

## エレベーターの使い方

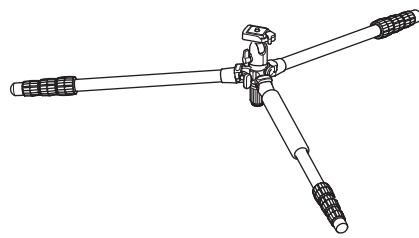


雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーをロックしてください。



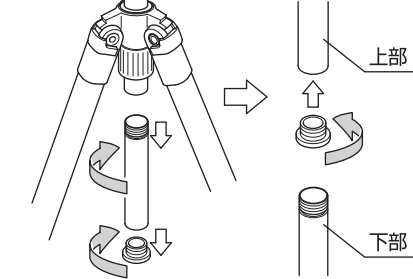
ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

## ローポジション



ローポジションにするときは、エレベーター下部を取り外してください。

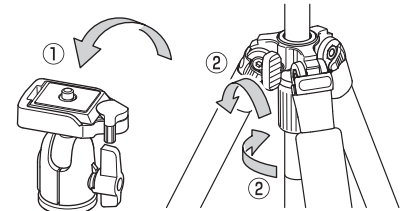
### ⚠ 注意



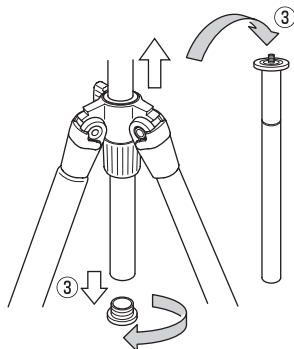
エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印の方向にねじって取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

## エレベーターの上下差しかえ

### ⚠ 注意

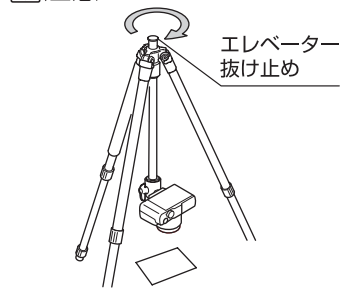


①エレベーターの上下差しかえのときは必ず雲台を外してください。  
②エレベーターストッパーとエレベーターロックナットをゆるめます。



③エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを抜きとります。

### ⚠ 注意



入れかえが終わったらストッパーを締めつけ、落下防止のために必ずエレベーター抜け止めを取り付けてください。

## ⊘ 禁止



•三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。  
•火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

## お手入れ

•よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

\*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。  
©2015 SLIK CORPORATION